

II 事例研究

1 地域のネットワークでつくる活動事例

今年の夏はスゴイ体験がみんなを待っている!

小学4年生の子ども全員が、2～4名一組で自分の通う学区以外の町内の受け入れ家庭に3日間ホームステイして、地域の中で体験学習を展開関わっている人<小学生、青年、成人>



☆活動名 都賀町ローカルホームステイ（子ども町内留学）

【活動の趣旨】 「夢を持ったたくましい子ども」を育てるために・・・

①子どもたちの体験学習の機会を拡大 ②地域で子どもを育てる環境の向上 ③子どもたちからもらえる癒しをテーマとして、都賀町が独自で考案した活動。子どもたちは自分の家を離れ、普段と違う生活を送ることで、受け入れ家庭や地域の人々からたくさんのことを学ぶ。都賀町の良さである活発な地域活動や、恵まれた自然が生かされている。

【連携】 各自治会、事業所等

【対象・人数・条件】 子ども・・・町内の小学4年生全員 130名（保険に加入）
受け入れ家庭・・・約40軒 町内全域で一般募集をし、趣旨に賛同された家庭

【始めるきっかけ】 町の特性を生かした子どもたちの体験学習機会の拡大を図り、たくましさと郷土を愛する心を養うとともに、地域ぐるみでの子育ての気運を高めようという目的で、平成11年度から実施している。今年で6年目となる。

【広報のしかた】 広報紙での受け入れ家庭の募集、各自治会長への説明会等の実施。

【活動内容】 初日、中央公民館での開会式・対面式終了後、各受け入れ家庭へ移動。

①各家庭での活動

受け入れ家庭が工夫を凝らして考えた計画により、食事づくりや掃除、野外体験、施設見学、昔の遊び等、様々な体験活動を実施している。

②地域での活動

自治会活動として老人会や子ども会との軽スポーツ等の交流会、地域学習や出前スポーツの実施、地元農家や企業の協力による作業体験や見学等、地域の教育力を最大限に生かした活動を展開している。

最終日には再び中央公民館に集合し、お別れ会（閉会式）が行われる。受け入れ家庭の方を前に、子どもたちが書いた感謝の絵手紙が読まれ、楽しかった思い出や感謝の言葉が伝えられる。

【成果と課題】 子どもたちは家庭から離れ、普段とは異なる生活の中で、多くの人とふれあいながら貴重な体験を重ねる。受け入れ側では、子どもたちと久しぶりににぎやかな時間を過ごせる、ホームステイする子どもとの生活を通じて、家庭での教育の重要性を再確認できる、自治会等では「地域こぞって子育てを」という気運が高まっている等の効果がみられる。

また、受け入れ家庭と子どもとのその後のつきあいができているのも成果といえる。

ローカルホームステイを長く続けていくためには、一つの受け入れ家庭の負担を軽くしていくことも必要となる。今後は自治会がより活性化し、自治会全体で子どもを受け入れる体制を整えていきたい。

☆これから始める人へのメッセージ

今試される地域の力・団結力！地域ぐるみで子どもを育てよう！

都賀町教育委員会

代表者 小倉 久吾（教育長）

所在地 〒328-0103
都賀町大字原宿 519

電話／FAX 0282-27-5050／0282-27-5152

E-mail syakaikyoiku@town.tsuga.tochigi.jp（都賀町教育委員会事務局）

